

第3回 かもめ教室運営委員会

平成24年1月26日(木)に今年度委託事業である「第3回かもめ教室運営委員会」が、関係する地域の方々の参加のもと、金沢国際交流ラウンジを会場として開かれました。

今回は、本運営委員会の初年度の活動のまとめという視点での意見交換が主となりました。「年度を通し、学校入り込み支援の要請が増えてきたこと、また、かもめ教室をラウンジ内の2教室から並木地区に1教室を増設することができた。ただ、このように実績は上がってきているが、まだ十分に地域・学校に衆知、活用されているとは言い難い」と集約されました。

来年度は支援を必要とする子どものニーズに合わせて対応していくため、保護者や学校現場との連携をさらに深めていくことを課題としました。

また、「かもめ運営委員会」は、この課題達成のため来年度も継続していくことになりました。



地震・つなみ訓練 実施

東日本大震災後、日本在住の外国人は地震もさることながら津波の恐ろしさをTV等で知る事になりました。当ラウンジでは昨年引き続き1月17日(火),19日(木),21日(土),22日(日)の4回、区役所・消防署と協力して日本語教室の外国人とボランティアを対象として教室毎に机の下に身を隠し、裏山(標高約50m)に登る避難訓練や非常食の試食等も実施しました。

参加した外国人達はブラジル・中国・韓国・マレーシア・ミャンマー・ペルー・フィリピン・ロシア・タイ・米国の方々延べ30人とボランティア43人の参加でした。

津波に対する訓練としてとても良い経験ができて良かったと好評でした。なお、この様子はJCNテレビでも放映されました。



金沢区2月広報に「金沢国際交流ラウンジ」の事が掲載されました



中国語版のHPをアップしました。ご覧になって下さい。

情報提供 小学校生活の準備を多言語で紹介しています(中国語、スペイン語)
<http://www.kanazawalounge.org>



23年度をふりかえって(各部より)

昨年の3月11日の震災以降、日本人の多くが「我に返った」のではないのでしょうか。被災地でボランティアという無償のはたらきに身を投じた多くの人たちを突き動かしたのは心の中で起こったまさに「我に返った」思いが、言動に表れたのだと思います。私たち金沢国際交流ラウンジも例外ではありません。震災を機に「自然との共生」を強く考えさせられ、他国では、どのように取り組んでいるかをテーマに「パネルディスカッション」を行いました。丁度、その時期、タイの国では洪水に見舞われており、タイのパネリストがその原因の一つは森林の伐採にあると言っていました。一方、ネパールの国では、今でも皿に葉を使い、メキシコでは自動車の排気ガスで黄色くなった空を取り戻す努力をした話などを紹介していただき、他国の自然との共生の取り組みについて多くのことを学ぶことができました。また、外国人を対象に地震時の避難用具、津波を想定しての避難訓練等、震災を体験して、いかに今後を生きるかに取り組んだ1年だったと思います。
代表 武田 美智子

日本語部

学習者のレベルとニーズに合わせて、生活者として必要な日本語支援を行う

日本語教室で学ぶ学習者は、それぞれのニーズやレベル、置かれている環境、過去の学習歴などが異なります。一人ひとりに合わせた、きめ細かい日本語支援をしていくことが必要です。幸い、殆どが、学習者とボランティア1対1の学習形態で行っているため、個々に合わせた教材の準備、指導をすることができます。今後さらにそれぞれの学習者に合わせて目標を設定し、教材の選定、教材研究、指導法を考えることができたらと思います。

学習者と共に「学ぶ」気持ちを大切にし、自らの向上に努め、研修に励む

今年度のブラッシュアップ講座では、文化庁委託事業「一おしゃべり型日本語交流活動」という新しい支援方法を学びました。学習者と共に「学ぶ」ことの大切さを体験することができました。ここで学んだことをこれからの活動の中に、いかに活かしていくかが次年度の課題です。

情報広報部

情報広報部は、日本語部、区役所、窓口と協力し、外国人のための情報収集、提供を行い、多言語(中国語、スペイン語、英語)でのホームページを更新しました。『防災』・区役所、消防署とも協力し日本語教室の学習者に、9月には避難持出袋の中身を紹介し、準備の大切さを伝えました。1月には津波を想定し裏山に登る避難訓練を実施しました。身をもって地震の怖さを感じた年であり、実施する方もより真剣に取り組まれました。

『就学前説明会』・入学前のお子さんを持つ外国人のために『学校説明会』を行い、義務教育、母国と違う学校の生活、入学前の準備などを講師から説明していただきました。そのための資料を作成し中国語、スペイン語に訳しました。今後も外国人の声を聞き、より情報広報部活動のPRに努めたいと思います。

子ども学習支援部

子ども学習支援部は、外国につながる児童生徒の学習支援を目的として、6月に「土、日かもめ教室」、さらに10月には「並木かもめ教室」を開校し活動を続けてきました。1年間の活動を通しての課題は下記の通りです。来年度もなお一層努力をしていきたいと思っています。

- ◆保護者との連携の強化及び信頼の構築
- ◆夏期休暇中の活動要領の工夫。
- ◆外国籍児童生徒がいる学校からの参加児童を増やす工夫。
- ◆学校との連携の強化。



- 参加児童の声
皆と会えるのが楽しい。先生が優しい。分らない所を分かりやすく教えてくれる。

窓口部

窓口スタッフは10人でスタートしました。8月には市大生3人を窓口を迎え、9月にはインターシップ生2名を受け入れ、ラウンジの役割を学生に伝えることができました。また窓口業務日誌を文書ファイル化し電子メールでスタッフ全員の情報共有化に努めたのは大きな前進でした。

今年度実施のラウンジイベントでは、ホームページ、広報区版、ちらしで広報活動をした結果、外国人、地域住民のかたが参加してくださいましたが、もっとラウンジの活動を知っていただくよう今後もPRを続けてまいります。また、外国人相談窓口では様々な相談がありました。今後も、外国人やボランティアが訪れやすいラウンジ、スタッフが能力を発揮できる窓口をめざしていきたいと思います。

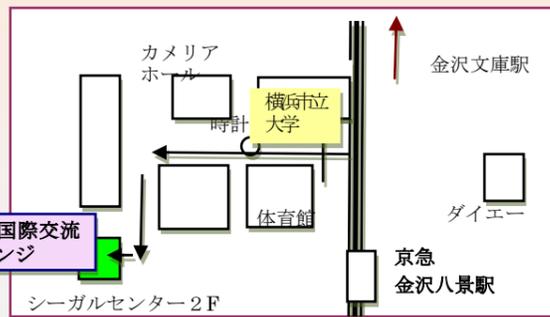
★ラウンジ窓口のご案内★

《開館時間》日・火・水・木・金・土 9:00~17:30

月、祝日、市立大学指定休 休館

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2

横浜市立大学内 シーガルセンター2階



☎ 045-786-0531 Fax 045-786-0532

多言語で相談

毎週火曜日 13:00~17:00 スペイン語

los martes de la tarde(13:00~17:00)

Consulta en español

毎週水曜日 9:00~13:00 中国語

毎星期三 9:00~13:00 中国語

➤【日本語教室】 場所: 金沢国際交流ラウンジ
日曜日 火曜日 木曜日 土曜日 10:00~11:30

➤【かもめ教室】
ラウンジ 土曜日 日曜日 10:00~11:30
並木教室 金曜日 15:00~16:30

➤【外国につながる子どものための教育相談】ラウンジ
毎週金曜日 13:30~17:30 専用 ☎045-786-0534

外国人講師が地域で交流事業

金沢国際交流ラウンジでは、地域の施設、団体、学校へ外国人講師を紹介しています。多くの区民が多文化を理解し、国際交流できる機会を提供しています。

次代を担う子どもたちに異文化を理解してもらおうという目的で、3つの小学校へ中国、ベトナム、ペルー人の講師に行ってください、母国の文化を紹介してもらいました。児童たちの感想に内容がよく書かれています。また地域の施設からの依頼により、餃子講習会の中国人講師を紹介しました。

6年生児童 感想 月21日 西富岡小 中国の文化紹介 講師 横浜市大大学院 宋 継臣さん

私は、今回の宋さんとの交流を通して、異文化交流の大切さを学びました。外国の方々と交流することで、異文化に触れ、相手の文化や思想を理解したりすることができると考えるようになりました。

今回の交流では、中国の文化や中国と日本のつながり等について知ることができました。本当に良い交流ができたと思います。楽しい時間を本当にありがとうございました。



4年生児童 感想

2月21日 高舟台小 ベトナムの文化紹介

講師・横浜市大生 ヴ・トゥン・ラムさん

私は国際理解教室でいろいろな事を教えてもらいとても勉強になりました。私が一番驚いたのは食べ物やフルーツがとても安かったことです。私でもたくさんフルーツや食べ物を買えるなと思いました。ベトナムの人は、お金を大切に使っているのだと思いました。次に驚いたことは、料理がとても美味しそうだった事です。私は、好き嫌いが多く、外国の料理で、好きなものはあまりなかったのですが、とてもおいしいような料理がいっぱいあったので、食べてみたくなりました。

その他にも学校の事や乗り物の事等を話してくださいましたのでいろんな事が分かるようになりました。

ベトナムに行ってみたくまりました。



5年生児童 感想

2月27日 六浦小 ペルーの国の紹介

講師・絵本作家 ガビー 東恩納さん

僕はガビー先生の授業を受けて、ペルーは六浦フェスティバルの時に調べたけれど、知っていたことについてもっと詳しく知ることが出来ました。

特に心に残ったことは日本にはないカラフルなトウモロコシがあったということです。黄色いトウモロコシしか見たことなかったのに、ペルーには白や赤や黄色なトウモロコシなどいろいろな種類があるそうです。実は僕はトウモロコシは好きではないけれども、トウモロコシに興味を持ったので、頑張って食べたいです。

他にナスカの地上絵の話が心に残りました。先生が絵に書いてある物をスペイン語で教えてくれました。ナスカの地上絵はどうやってかいたのかと疑問に思いました。ペルーの事をもっと知りたいと思いました。



並木地域ケアプラザにて「水餃子講習」

講師・牛 曉萌さんを派遣しました

平成24年1月29日日曜日、市大大学院留学生 牛 曉萌さんが講師として水餃子講習会を行いました。参加者は地域の方14名（子ども2人含む）でした。今年1月22日は中国の春節でした。水餃子は昔のお金の形をしているので、縁起物として、中国では春節に食べる習慣があります。今回は皮作りから始め、白菜と豚肉を入れた水餃子を、牛さん持参の中国のしょうゆ「生抽王」につけて食べると、もちもちして格別な味がしました。参加者からは「皮の作り方を教わり、早速家でも試したい」という感想がありました。講師から中国の春節の習慣と簡単な中国語の紹介もありました。食を通して地域の皆さんと交流ができました。



異文化を紹介する講師を派遣します
国名と内容をお知らせください
問い合わせ・ラウンジ窓口

045-786-0531

日本語教室 スピーチ発表会

日本語部では、毎年3月初旬に恒例行事として、外国人学習者による「日本語スピーチ発表会」を行っています。今年も4教室ある日本語教室で、教室ごとに実施し、32のスピーチ発表がありました。土曜、日曜は、子どもが通う「かもめ教室」と成人の日本語教室とが合同で行いました。終始和やかな雰囲気の中で、それぞれの「お国柄」を感じる楽しい発表を聞くことができました。スピーチを通して、多文化に触れ、多くを学び、理解しあう、よき交流の場となりました。

火曜教室

7ヶ国、9人の学習者が発表し、個性あふれる内容のスピーチでした。入会したばかりの学習者は、自己紹介で自分をアピールし、タイマッサージのスピーチでは、思わずマッサージを受けたくなるような気分になりました。

また、長く厳しい冬の後に来るロシアの春のスピーチを聞き、素敵な春をしっかりと脳裏に描くことができました。マレーシアの学習者の発表は、ことわざを多言語で紹介した格調高いもので、その博識に感動しました。ボランティアへの恩返しという思いで東北の被災地へ赴き救助活動をしたというスピーチや、アラスカで実際に見たオーロラを本当に見事な日本語で紹介したスピーチもありました。圧巻は、ブラジルのカーニバルについてでした。スピーチは、もちろん、衣装や髪飾りの実物まで披露され、サンバの音楽にのって本当に楽しいひと時でした。

学習者からの手作りケーキの差し入れ、仕事を繰り合わせて駆けつけてくれた人など皆の気持ちに支えられて成功した発表会でした。



土曜教室

土曜日（3月3日）、参加者34名（発表者9名）今年はこのところ学習者の数が少なく、どんな発表会になるかと気が揉んでいましたが、当日になってみると、かもめ教室の子どもたち他、ゲストの皆さんがたくさん参加してくださいましたので、心配は吹き飛んでしまいました。頑張って用意して来たスピーチ文を堂々と発表する子、覚えてた日本語でたどたどしく自己紹介をする子、里帰りした故郷の様子をぶっつけ本番で話してくれた学習者。これから取組む日本語学習への希望を話す学習者などなど、それぞれ一生懸命に話してくれました。そして元気一杯の子ども達の笑いに誘われて大変にぎやかな、和やかな発表会となりました。その後ゲストの皆さんが加わっての茶話会では老いも若きも楽しい会話が続きしました。学習者の皆さん、わざわざ足を運んでくださったゲストの皆さん、準備してくださったボランティアの皆さん、大変ありがとうございました。心から厚くお礼を申し上げます。



木曜教室

雪に包まれた前日とは打って変わり、春の日差しを窓辺に感じながら、学習者4名、ボランティア、見学者17名の参加で発表会が行われました。

私達に馴染みの称名寺の亀やとんび、鴨などたくさんの生き物にやさしい眼差しを向けたスピーチ。長く厳しい冬を終え、待ちわびた春の訪れを喜び母国の様子を話してくれた人。ことわざの話もありました。マレー語のことわざ「かには前にまっすぐ歩くように子どもに教える」さて、どんな意味だと思いますか。そして、お酒好きにはたまらない、テキーラについてのスピーチとの発表も参加者の好奇心をくすぐり、質問などで大いに盛り上がりました。

中級の学習者による司会も素晴らしかったです。やさしい笑顔が発表者の緊張をほぐしたことでしょう。お人柄の温かさがそのままスピーチの会場に広がっていました。続いての茶話会は参加者の母国語であるスペイン語、ロシア語、マレー語、中国語、そして日本語の乾杯ではじまりました。歌も飛び出し、楽しいひと時でした。さあ、来週からまた一緒に勉強しましょう。



日曜教室

あいにくの寒空でしたが、大勢の方が参加されました。発表者は成人8名、かもめ教室2名の10名、ボランティア13名のほかに、見学者が5名で計28名となりました。国の紹介や名物料理、正月の様子など興味深く楽しいスピーチに見学者からの質問も飛び交い、盛り上がりました。また日本語学習の難しさと楽しさをしっかりと話された学習者、祖父とのしばしの別れを切々とつぶつたかもめ教室の小学生のスピーチには、それぞれ心打たれるものがありました。

そのほかにも久しぶりに顔をみせて飛び入り参加してくれた方、日本語学習を始めたばかりでなんとかがんばって自己紹介してくれた方等、バラエティに富んだスピーチ内容でした。

集合写真撮影のあとは、各国の言葉で「乾杯！」と大きな声で唱えて、茶話会にはいりました。立食形式でしたが、今年からは温かい飲み物が供されたのは好評でした。またボランティア有志がもちこんだ茶器と玉露でお茶をたてる経験を、学習者も目を輝かせて、茶筌をかき回しお茶を楽しんでいました。

